

多高通信



第220号 令和6年2月27日発行
さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

1学年課外講習

「宮城大学 アイントレプシナーワークショップ」

12月27日(水)に宮城大学 大和キャンパスを訪問し、宮城大学を実際に訪問してのワークショップを通して、MESやドローンといった現在の最新テクノロジーに触れて新たな思考を体感し、複雑な社会の問題を解決するための力を得ると同時に、自分達が生きる社会の将来像を構想すること、また、ありうるべき未来の選択肢の一つとして起業家の新たな可能性を模索し、「実現したい未来」を考えることを目的とし、「高校生のための未来指向型アントレプレナーシップ・ワークショップ」を実施していただきました。MESやドローンを使用するためのプログラミング体験だけでなく、そのような道具をどのように用いて社会に役立てるかまで、生徒達は考えることができました。受講した29名の生徒は、積極的に参加していました。

【生徒感想】

◎宮城大学でのMESやドローンを使用した貴重なワークショップを実際に体験して、プログラムすることの楽しさやプログラムをしていても全てが思い通りにいくわけではないという難しさを体感することができた。



きました。まずは恐れずに挑戦してみることが大切だと改めて認識することができました。これにただ認識する・学ぶだけで踏みとどまらず、進路で選択する際にも失敗を恐れず、失敗を経ることにより良い選択を選べるように活用して行けたらいいなと思います。

◎今回宮城大学のワークショップ

に参加したことでもさまざまな知識を得ることが出来ました。これはAIやロボットなどがさらに活躍する世の中になつていくので、AIの暴走や職が失うなどAIに良い印象は持っていませんでしたが、それらをいかに人間がコントロールして上手く利用するかが大切になってくるということです。今回学んだプログラミングも応用すれば活かせると思います。自分はこれらの技術を農業はもちろんだこと環境保護にも役立てたいなと思いました。



「推薦・総合型入試合格者講話」実施

1月25日(木)に、本年度、推薦・総合型入試で大学に合格した3年生から、1・2年生へ講話をしてもらいました。志望したきっかけ、いつからどのような対策を行ったか、やってみて良かったことなど、推薦入試



を経て進路を決定した先輩の体験談を直接聞くことで、後輩達は、入試についての認識を深め、希望進路実現に向けた道筋を把握することができました。

災害科学科1学年

「SS課題研究基礎」特別授業

2月20日(火)に「SS課題研究基礎」で特別授業を実施しました。理系の課題研究の利点・留意点やその具体的例を知り、これから設定する自分たちの研究テーマ設定や研究の計画立案に活かすことを目的として、東北工業大学の菅原景一氏に講義をいただきました。

「SS課題研究基礎」で特別授業を実施しました。理系の課題研究の利点・留意点やその具体的例を知り、これから設定する自分たちの研究テーマ設定や研究の計画立案に活かすことを目的として、東北工業大学の菅原景一氏に講義をいただきました。生徒達は、受講しており、今後の研究発表に期待したいと思います。

2月20日(火)に「SS課題研究基礎」で特別授業を実施しました。理系の課題研究の利点・留意点やその具体的例を知り、これから設定する自分たちの研究テーマ設定や研究の計画立案に活かすことを目的として、東北工業大学の菅原景一氏に講義をいただきました。生徒達は、受講しており、今後の研究発表に期待したいと思います。



「防災ワークショップ」開催

語学研究部・災害科学科

12月18日(月)、本校で行われたマレーシア出身ハムザさん(HAMUZA SAUF)による「防災ワークショップ」に、語学研究部員8名と、災害科学科5名が参加しました。ハムザさんはマレーシアで、人命救助の免許を持ち、マレーシアサラワク州でボランティア活動に日々専念している方です。このワークショップは「ともだち・カワン・コミュニティ」のサポートをいただき行われました。

まず、国や言語の説明があり、生徒たちは自己紹介をマレー語で挑戦しました。その後、負傷者の救助の仕方を、腕を負傷したとき、脚を負傷したとき、

意識が無い時に分けて、救助体験を行いました。その中で、日本では救助の際には赤十字マーク(レッドクロス)を使用するが、イスラム教国では赤十字ではなく赤新月(レッドクレセント)が使用されていること、イスラム教徒は男性が女性に触れることはできないが、救助のような緊急事態では特別であること等、国や宗教によつての違いも実際感じることもできたワークショップとなりました。



【生徒の感想】

◎私は、マレーシアの挨拶に興味を持ちました。「私の名前はOO」というのは「サヤOO」で話すことができましたが「こんにちは」は更に自分で調べてみたところ、時間によって言い方が違うそうで昼はスラムタウンガハリ、14時頃はスラムマップタン、という違いがあることに驚き、他国への興味がより深まりました。また、救助体験においてもなかなか聞けないことを聞いたので、災害に力をいれている学校としてより何かに生かせるような気がしました。

